

英語史B 久屋 孝夫	履修年次	クラス	単位	学期
	3-4		2/4	後期/通年
備考： 英語史				

【講義の概要】

【講義の到達目標およびテーマ】

「英語史ウォッチング 1600年から2000年まで」

英語の誕生・成長の過程を、英語が生まれた背景(場面・文化・社会・歴史)とともに観察し、英語の歴史についての基礎知識を得る。

【授業の概要】

エリザベス朝時代のイギリス英語に由来するアメリカ英語に貢献したさまざまな民族(黒人英語や移民たち)のことば、旧植民地や国連から発信される新しい多国籍英語(New Englishes 新英語)、さらにInternet Englishの新たな表現の可能性も、現代の歴史として忘れることはできない。BBC制作のDVDで主に視聴覚的に概観しながら、進めていく。

【準備学習などについての具体的な指示】

教科書(The Adventure of English)に沿って進めるので、教科書を読んだり、教科書に準拠したDVDで予習をしておく。〔DVDは言語教育センター4階の視聴室で視聴できる。〕

【提出すべき課題】

知識の定着を図るため、数回程度教科書の各章を要約して提出する。

学習した内容の定着を図るため、別掲リサーチペーパーを提出する。

(いずれもMoodleへの投稿必須)

課題のアップロードやハンドアウトのダウンロードについては学期始めに指導する。

またSAINSのwebpage(moodle内の該当コース)を参照のこと。

【授業計画/各回ごとの授業内容】

以下の目次どおりに進む。ポイントとなる部分を抜粋し、映像を添付したハンドアウトをMoodleに掲載するのでダウンロードし、活用されたい。

[目 次]

-----英語史 B [後期]-----

13 'My America' (pp.154-171)

アメリカ英語(1) その誕生ー

14 Wild West Words (pp.172-186)

アメリカ英語(2) 東海岸から内陸部、そして西海岸へ(図表14)

先住民族、そして新参民族のおりなすタピストリー

15 Sold Down the River (pp.187-198)

アメリカ英語(3) アフリカ系アメリカ人の貢献(図表15, 16, 17)

16 Mastering the Language (pp.199-218)

英語辞書の編纂と文法書の出版 18世紀 - ジョンソン博士

17 The Proper Way to Talk(pp.219-236)

正しい話し方 - 啓蒙時代--18世紀後半

18 Steam, Streets and Slang (pp.237-249)

産業革命と都市化、市民、労働者の誕生 19世紀、コックニー、階層とことば

19 Indian Takeover (pp.250-264)

植民地インドでの英語の浸透

20 The West Indies (pp.265-275)

カリビアン英語 - 西インド諸島にて

- 21 Advance Australia (pp.276-286)
オーストラリアでの英語の成長
- 22 Warts and All (pp.287-296)
差別的表現、言語的文化的少数派への抑圧
- 23 All Over the World (pp.297-305)
国際共通語への渴望、英語と米語と . . .
- 24 And Now...?(pp.306-315)
英語の未来：他の言語への英語の影響、英語の広がり、英語の多様化；
Text English 新たな書記法；新語のビッグバン「新しい思想を新しい容れ物に」

-----<参 考>-----英語史 A [前期]-----

- 0 Introduction(p.ix)
英語の起源；
時空軸：5世紀のフリースランドで使われていた「原始」英語から
21世紀のシンガポールで話される英語まで。
- 1 The Common Tongue (pp.1-16)
英語創世記；インドヨーロッパ祖語の一分派のゲルマン語族の一員。
英国に隣接する国、民族の言語との類似性
先住民族ケルト人との衝突
- 2 The Great Escape (pp.17-32)
イギリスの祖 = ヨーロッパ大陸から侵入するゲルマン人(445)
古(代)英語Old Englishの時代(図表1, 2)
アルフレッド大王の英国；侵入する北欧ヴァイキングとの争い(図表3, 4)
- 3 Conquest (pp.33-40)
ノルマン人(フランスに定住したヴァイキング)による英国征服(1066)(図表5)
中(世)英語Middle Englishの時代(図表6)
- 4 Holding On (pp.41-53)
支配層の言語フランス語の優位と英語の劣勢
- 5 The Speeches of Kings (pp.54-68)
中英語期における支配層の言語のフランス語から英語への移行(図表7, 8)
- 6 Chaucer (pp.69-79)
チョーサー、偉大なる中英語時代の詩人による貢献(図表11)
- 7 God 's English (pp.80-93)
ウイクリフによる聖書翻訳 - 神のことばとしての英語
- 8 English and the Language of the State (pp.94-104)
国家語としての英語、大英帝国の誕生の萌芽(図表12, 13)
- 9 William Tyndale 's Bible (pp.105-115)
ティンダルによる聖書翻訳
- 10 A Renaissance of Words (pp.116-128)
アルマダ艦隊を破る(1588)、エリザベス一世、大英帝国の誕生
- 11 Preparing the Ground (pp.129-140)
栄光への階、大英帝国の誕生 - 16世紀
- 12 Shakespeare 's English (pp.141-153)
シェイクスピアの貢献 17世紀初頭

【テキスト】

Melvyn Bragg, The Adventure of English (Hodder & Stoughton) 2003

【参考書等】

英米史辞典、研究社、2003.

Tom McArthur: The Oxford Guide to World English, Oxford University Press, 2002.

〔成績評価の方法〕

- (1) 教科書の章ごとの要約(数回程度)(30%) *Moodleへ投稿すること。
- (2) 2回のリサーチペーパー(30%) *Moodleへ投稿すること。
- (3) 授業参加および出席:(出席カードに必要事項(コメントを含む)記入,提出)(10%)
- (4) 小テスト(30%)【*第15回目に小テストを行なう。】

〔履修上の注意〕

3回を超える欠席は単位取得に黄・赤信号。要注意!
提出物を必ず提出すること。